10月22日 高取山(奈良)

今村 ひとみ

	10月22日 同取四(宗	尺			一分で	こか		
山 名	高取山(奈良)		山行	名	労山部 登	:山祭	山祭典	
ルート	近鉄壺坂山駅→猿石→国見櫓跡→高取山→五百羅漢→壺坂寺参道→壺坂山駅							
山行目	2023年10月22日(日)		天 候		晴れ			
参加者	女性: 和田・幾田・川上・仲野・多田・森田 合計: 13 名							
ルー	- ト 概 略 図 コースタイム							
0 750 m 1.5 km		地名		時:分	地名		時:分	
7	5884	壺坂山駅	集	9:05	高取城登山 道入り口	着	14:23	
			発	9:14		発	14:25	
The state of		猿石	着	10:49	壺坂寺前 (バス停)	着	14:35	
1			発	10:58		発	14:45	
9.1		国見櫓跡	着	11:05	壺坂寺参道 入り口	着	15:01	
高取明			発	11:13		発	15:03	
12 (7		高取山 (高取城 跡)	着	11:25	壺坂山駅	着	15:38	
\ 0			発	13:45		発		
(C) inceple		五百羅漢像	着	14:08		着		
			発	14:21		発		

山行報告

〈活動〉合計 6 時間 23 分・距離 10.9 km・休憩時間(訓練含め)2 時間 48 分 ・上り下り(累計 556/556m今回は労山部の登山祭典の企画として、高取山登山と、応急手当訓練を高取山山頂の高取城跡広場にて実施。

新田辺駅に集合、近鉄電車に乗って1時間程で近鉄吉野線の壺坂山駅に到着。

13 名の参加者の内、2 名の新会員を紹介後、ウオーミングアップを兼ねて街歩きのスタート。城下町の一本道「土佐街道」はユニークで賑やか「かかし祭り」をしていた。歩き始めて約 30 分後、山に入る手前の上子島砂防公園でトイレ休憩とストレッチをし、いよいよ山歩き。40 分ほど歩くと飛鳥時代に作られた石像の猿石を通過し、その先には、国見櫓跡があり見晴らしの良い景色が広がる。標高が上がるに連れて緑に苔むした石垣が各所に見られ、山頂の立派な本丸跡(広場)に到着。昼食後 12 時から応急手当訓練開始。若林さんから三角巾を使った応急手当法を学ばせてもらう。腕骨折、足首捻挫時の対処法、頭部の圧迫止血法、心肺蘇生法のデモ、ロープワークなど実技含め盛りだくさんであった。山城跡で記念撮影し、

13:30 下山開始。40 分歩くと五百羅漢像があったが、この付近は足場が悪く声を掛け合いながら慎重に下った。登山口から一般道を歩き壺坂寺前で休憩。(寺前のバス乗り場からで壺坂山駅まで体調不良の方一人がエスケイプ)そして壺坂寺参道を歩き、住宅街を経て壺坂山駅に予定の7分前に到着、解散。登りより下りの距離が長く、新会員さん疲れてないかと心配したものの、私の方がヘトヘトだった。皆様ご協力ありがとうございました。

【ヒヤリハット なし】







かかし祭り 猿石 国見櫓からの景色



応急手当法 三角巾実技



ロープワーク 実技?



高取城跡



五百羅漢像

若林

労山登山祭典例会行事 高取山登山に参加 今回参加したのは、救急救命関連の一環で三角巾を会員が常に使用できる環境作り対策の一環での協力要請を労山部長より受けての参加であった。当日は早朝から快晴に恵まれ絶好の登山日和リーダー設定のコースタイムより早く高取山 本丸に到着途中展望台からは奈良盆地や山々が良く見えて一同歓声 昼食を終え 12 時から 13 時迄一時間かけて三角巾の止血 固定 被覆 包帯作り 収納 本結び 心肺蘇生に関して共通の現場研修を実施する事が出来た。

今後は、労山担当者が例会等参加の折、今日の体験を糧にして頂き、機会有る事に現場にて披露して山だけではなく、身近な所でも活用頂ければ裾野も広がり更なる普及に繋がると思う。

ロープワークと同様常に三角巾を 意識しなければ直ぐに忘れますよ。

ご参加の皆さんお疲れ様でした。

安倉

初心者講習以来初参加で皆さんのペースに付いていけるかとても心配でしたが、しんどくなって来たなと思ったらCLの今村さんから「ここで5分休憩します。」との救いの声。「へとへと」になることなく頂上の高取城址に到着。昼ごはん後は若林さんから「三角巾」の使い方をレクチャーいただきましたが、先月の講習で覚えたつもりが、全くできませんね。帰り道は別の道、五百羅漢、壺阪寺経由近鉄壺阪山で解散、遅れず付いて行けた事に安堵した次第です。ありがとうございました。

中村 康信

秋晴れの下、高取山城跡を周回するコースは、さまざまな趣きを楽しんで、 あっという間に終わりました。城下町は、おしゃれなかかし人形が目を楽しませてくれました。国 見櫓からは、二上山を正面に大和平野が見渡せました。昼休みに、本丸(頂上)では、三角巾を使 った応急手当の講習を受けましたが、講師ペアの漫談が大受けして、笑いが止まりませんでした。 下り道の岩には、五百羅漢が彫られており、山を守ってくれているように感じました。